

地域の魅力の再発見、磨き上げ等に係るワークショップ運営等業務委託
企画提案書作成要領

地域の魅力の再発見、磨き上げ等に係るワークショップ運営等業務委託に係る企画提案書の作成に当たっては、仕様書「２業務の目的」及び「４委託内容」を踏まえ、次の各項目について作成すること。様式は任意とする。

また、本事業を受託した場合は、企画提案の内容で実施することを基本とするが、最終的には県との協議の上、決定することとする。

項目		作成要領
一 目的等の理解度	業務目的の理解	以下のア、イの事項について提案を行うこと。 ア 本業務を遂行するにあたっての取組方針 イ ワークショップ運営等の企画の考え方
二 提案内容等	業務設計	以下のア、イの事項に係る運営方法やスケジュールについて提案を行うこと。 ア 令和８年度の位置付け（基盤づくり）を踏まえた設計 イ ワークショップから成果整理までの一連の流れを論理的に構築した設計
	ワークショップ運営等	以下のア～キの事項について提案を行うこと。 ア 各回の目的（ゴール）を明確に設定 イ 資源発掘・分析・磨き上げ・ストーリー化の流れの体系的な設計 ウ 地域住民や事業者の主体性や内発的な気付きを引き出す工夫 エ 多様な意見を引きだし、合意形成につなげるファシリテーション設計 オ 取組内容に応じ、必要な地域関係者や外部の視点を持つ人材を参画させる設計となっているか カ 単なる意見交換にとどまらない、具体的な成果につなげる設計 キ 実施回数・成果共有・報告会までの適切な設計
	ワークショップの視点等	以下のア～カの事項について提案を行うこと。 ア 地域住民や事業者の愛着や誇りを醸成する視点の盛り込み イ 地域資源の再認識や掘り起こしにつながる手法 ウ 地域資源の独自性を分析・整理できるノウハウ エ 地域資源の価値の磨き上げに向けた視点・ノウハウ オ 背景・歴史等を整理し、域内外へわかりやすく伝わるストーリー化 カ 令和９年度以降の効果的なアウトプットに向けた助言
	成果等	以下のア、イの事項について提案を行うこと。 ア ワークショップ成果を分かりやすく整理・可視化する手法 イ 令和９年度以降に向けた効果的な提案についての考え方
三 業務実施体制の適格性	実施体制の適格性	以下のア～エの内容が分かるよう記載すること。 ア 業務が遂行可能な人材の確保 イ 効果的な人員体制

		ウ 県からの要望等に迅速、柔軟に対応できる体制 エ 業務を円滑に進める体制（役割分担・責任体制）
	実績の有無	過去に実施した同種または類似の業務実績について、次の内容が分かるよう記載すること。 ・業務名 ・発注者 ・事業期間 ・契約金額 ・業務概要 ※過去5年以内のもの
四 提案金額		・総額に加え、内訳を示すこと。 ・消費税及び地方消費税を含めた金額で作成すること。

※ 企画提案書にはページ番号を記載すること。

※ 表紙（様式4）を別ファイルで提出すること。

※ 厳格に審査するため、企画提案書及び関係書類には、会社名など提案者が特定される情報は記載しないこと。